

[参考資料②]基本計画の策定に向けて

(1) 伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略との一体的な策定

総合計画と伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定する考え方を示す。

- 少子高齢社会の進行に的確に対応し、将来的な人口減少や地域経済縮小の課題に対応した活力あるまちづくりに向け、平成27(2015)年度に伊勢原市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、将来を見据えた取組を進めてきた。
- 総合戦略が令和4(2022)年度をもって終了することから、本格化する人口減少・少子高齢社会の進行に伴う様々な課題に対し、長期的な視点に立ち、総合的かつ効率的に取組を推進するため、総合計画と一体的に策定する。

(2) SDGsの実現

総合計画の推進とSDGsの実現の考え方と関連性を示す。

- 平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された令和12(2030)年までの国際目標である持続可能な開発目標(SDGs)は、17のゴール・169のターゲットで構成され、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指して、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に総合的に取り組むこととしている。
- これまでも本市が推進してきたまちづくりは、SDGsの理念と合致していた。次期総合計画においても、その理念に即した持続可能なまちづくりを進め、SDGsの実現に貢献していくものとする。また、本市の取組とSDGsの関わりを市民に分かりやすく示すため、基本計画にSDGsとの関連性を示すこととする。



資料：国際連合広報センター